

視察研修・研修会など報告書

議席番号（ 4 ） 議員名（ 齋藤 典子 ）

2026年1月13日～1月15日（2泊3日）

場所 福岡県飯塚市、みやま市、熊本県荒尾市

【研修報告】

・福岡県飯塚市「飯塚市ブロックチェーン推進宣言について」

飯塚市では、ブロックチェーンの取組およびブロックチェーンを活用したまちづくりについてお話を伺いました。フォーラムの開催や技術研究会の実施、市長による推進宣言の発信を経て、任意団体「福岡ブロックチェーンアライアンス」が結成されました。情報技術に優れた知的人材が集まる飯塚市の特性を活かし、産学官が連携するまちづくりを推進している点は、大変素晴らしい取組であると感じました。

当初はブロックチェーンに対して難解な技術という印象を持っていましたが、説明を伺う中で「信頼を可視化する仕組み」として理解することができました。また、産学官が連携して人材育成や企業誘致を推進し、新たな産業創出と地域活性化につなげていく取組も、大変印象的でした。

矢板市においても、人口減少や担い手不足といった課題を抱える中で、農業分野をはじめとする地域産業の活性化や行政のDX推進に向けて、ブロックチェーン技術の可能性を研究し、段階的に活用を検討していくことが重要であると感じました。

・福岡県みやま市「みやまスマートエネルギーについて」

みやま市では、みやまスマートエネルギーの取組を通じて、地域経済の循環・防災力の強化・持続可能なまちづくりに直結する重要な施策であることを学びました。

みやま市では、太陽光発電を活用した再生可能エネルギーを地域で生み出し、地域で使う「地産地消」の仕組みを構築するとともに、自治体を中心となってエネルギー会社を設立し、市民・企業・行政が一体となって取り組んでいます。その先進的な姿勢は、大変素晴らしいものであると感じました。

また、エネルギー事業による収益を子育て支援・高齢者支援・防災支援に充てる取組は、地方自治体における好循環モデルとして高く評価できます。

持続可能な矢板市づくりに向けて、本取組を参考に政策研究をさらに深めて参りたいと思います。

・熊本県荒尾市「荒尾市ウェルビーイングスマートシティーについて」

荒尾市の研修に参加させていただき、国の交付金を積極的に活用して市の財政負担を軽減しながら、行政サービスにとどまらず、子育て支援・高齢者の見守り・健康増進（デジタル健康手帳による健康診断データの提供）・防災など、市民生活に直結したデジタル技術を活用することで、「誰一人取り残さない社会の実現」を目指す取組は、大変素晴らしいものであると感じました。

矢板市においても、デジタル健康手帳の導入をはじめ、市民の幸福度や暮らしの質を重視したスマートシティの考え方を取り入れていく必要性を強く感じた研修でした。

・太刀洗平和祈念館視察

館内には戦時中の飛行機や関連資料が展示されており、戦争によって多くの尊い命が失われ、数多くの人々が苦しんだという事実を改めて認識するとともに、戦争の悲惨さだけでなく、平和の大切さを後世に伝えていかなければならないと強く感じました。

現在もなお、世界では戦争によって何の罪もない人々が苦しめられている現実があります。今回の見学を通じて、平和であることがいかに尊く、ありがたいことであるかを痛感し、改めて世界の恒久平和を願う思いを強くしました。